

授業科目名	こころとからだのしくみⅠ	科目コード	1035		
開講クラス	介護福祉学科	コース	介護福祉士コース	学 年	1年
担当教員	廣澤三保子				
	実務経験教員 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )				
	実務経験内容 看護師として病院勤務				
開講時期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	30時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1単位	
使 用 テキスト1	書 名	最新・介護福祉士養成講座『こころとからだのしくみ』			
	著 者	遠藤 英俊 他			
	出版社	中央法規出版			
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ( )				
<p>&lt;授業の目的・目標&gt;          人間を理解するうえで人体の解剖学、生理学は最も基本的な学習項目である。          介護技術を行う根拠とからだの仕組みの関連性が理解でき、医療職との連携、支援につなげることができる。          人体の基礎を学ぶことで、身体的、精神的に困難となった人たちへの介護の視点を見出すことができる。</p>					
<p>&lt;授業の概要・授業方針&gt;          ・ 身体の諸器官の解剖生理について、各器官を模型や資料を基に解説していく。          ・ 人体の構造を理解したうえで、疾病との関連性が理解できる。          ・ 授業導入時、前回の復習を毎回行う。(小テスト・口頭質問等)</p>					
<p>&lt;成績基準・評価基準&gt;          ・ 授業態度、積極性、提出物、試験、出席状況(当該科目の年間出席時間数が履修すべき授業時間数の3分の2以上であること)から総合的に評価する。          ・ 前期・後期試験において          評価基準：100点法で60点以上の成績、その他総合的な評価を含め合否判定する。</p>					
<p>&lt;使用問題集・注意事項&gt;          ・ 介護福祉士国家試験過去問解説集・介護福祉士国試ナビ          過去問において出題傾向を分析し、重要ポイントを再確認する。</p>					

授業科目名	こころとからだのしくみ I	
回	授 業 内 容	備 考
1	オリエンテーション/シラバスの説明	
2	身体各部の名称・細胞・遺伝	
3	身体各部の名称 (全身の骨格・骨格筋)	
4	骨格系・筋肉系 (骨の生理作用・骨格筋の働き)	
5	骨格系・筋肉系 (筋肉の役割)	
6	骨格系・筋肉系 (骨・関節・筋肉の動き)	
7	脳・神経 (脳の構造)	
8	脳・神経 (脳の構造)	
9	生命を維持する仕組み 中枢神経系・末梢神経系・交感神経・副交感神経・ホメオスタシス	
10	脊髄の構造・12対の脳神経・脳の構造まとめ	
11	感覚器の仕組み～視覚器	
12	感覚器の仕組み～視覚器	
13	感覚器の仕組み～平衡感覚器	
14	感覚器の仕組み～嗅覚器・味覚器・皮膚/感覚器各部名称まとめ	
15	内臓の名称	
16	消化器の仕組み～消化とは	
17	消化器の仕組み～消化管 (食道・胃・小腸・大腸)	
18	消化器の仕組み～消化腺 (肝臓・胆嚢・膵臓)	
19	消化器の仕組み～まとめ	
20	泌尿器系 (腎臓と尿路の仕組み)	
21	泌尿器系 (腎臓と尿路の仕組み)	
22	呼吸器の仕組み～呼吸とは/気管支・肺の構造	
23	呼吸器の仕組み～呼吸とは/気管支・肺の構造	
24	循環器系のしくみ 心臓・血管系の仕組み	
25	循環器系のしくみ 心臓・血管系の仕組み	
26	循環器系のしくみ 心臓・血管系の仕組み	
27	循環器系のしくみ 心臓・血管系の仕組み	
28	呼吸器系・循環器系まとめ	
29	血液・体液・リンパ～まとめ	
30	生命維持徴候の観察 (バイタルサイン)	